



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2021年  
7月30日  
発行

第98回

「西村証券若手勉強会報告」

## ～日本の外交下手は本当か～

### 初めに

久しぶりの若手勉強会報告です。この勉強会は入社1 - 2年目の若手社員を対象とするものです。新型コロナのため休止となっていました。この度再開されました。この勉強会では参加者はいくつかのチームに分けられ先生(自分)が事前に発表した課題に取り組み、最後に発表する仕組みです。今回の課題は「日本の外交下手は本当か」でした。金融市場とはあまり関係ないテーマですが自分は視野を広げるためにはこうしたテーマこそふさわしいと思っています。最後は各チームに日米・欧州・中国の外交力ランキングを発表してもらいました。外交力をどう定義するか、時間軸をどう設定するかがポイントですが、あるチームはGDPをつかっており、なるほどと思われました。

### 外交上手は欧州

自分が考える外交上手は欧州です。一国一国は小さくとも数を頼りに国際会議をリードします。昔のことですが冬季五輪のジャンプ競技で日本選手がメダルを取る度に日本選手に不利なルール改定が行われたことをご記憶の方もいらっしゃると思います。現在重要な問題となっている温暖化対策でも議論をリードしているのは欧州です。

### 外交下手の米国

一方自分が外交下手と思うのは米国です。戦後の米国の外交を考えるとベトナム戦争の打撃を受けまた対中融和路線に舵を切ったことが中国の躍進を後押しすることになりました。この様に見るとイラン戦争やアフガン戦争も含めて失敗ばかりの気がします。米国の外交下手はそもそも力が強いために外交の必要がないことが理由と思っています。ただバイデン大統領は外交において国際協調を重視する姿勢を取っています。バイデン政権で米国の外交はそうした方向に変わると見えています。

### 評価できる戦後日本の外交政策

最後に日本の外交政策にも触れておきます。戦後は一貫して米国との同盟関係を続け、経済的には躍進を遂げました。経済は前ほど順調ではないものの米国にとっての重要な同盟国との役割は変わらず対米関係を基軸とした日本の外交政策は合格点だと思います。このように考えて外交巧者とまで言えるかは分かりませんが戦後日本の外交政策はここまで決して悪いものではなかったと思います。

今回は西村証券の若手勉強会についてお話しさせて頂きました。今後ともよろしくお願いたします。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。